

科目名	インターンシップ2							年度	2025
英語科目名	Internship 2							学期	通年
学科・学年	電子・電気科 電気工学コース 2年次	必/選	選3	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	企業 担当者		教員の 実務経験		有	実務経験の 職種		技術者	
【科目の目的】									
<p>企業の現場で使われている技術を経験する。企業実習を通じ社会人として必要な知識やマナー、技術力を身につけることを目的とする。</p> <p>※なお、実施内容は企業ごとに異なる。</p>									
【科目の概要】									
<p>企業研修で実際の現場を学び、実践力のスキルを高める。</p>									
【到達目標】									
<p>A. ビジネスマナーが身についている</p> <p>B. 業務内容を理解している</p> <p>C. 技術力の向上</p> <p>D. 課題解決力が身についている</p> <p>E. 成果をまとめ、発表することができる</p>									
【授業の注意点】									
<p>企業の就業規則、インターンシップ契約を厳守する。怪我や機器の破損など過失について十分に注意する。事前にインターンシップ保険の加入を義務づける。</p>									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	ビジネスマナーが身につけており、自主的に行動することができる		ビジネスマナーが身についている		ビジネスマナーが身につけていない				
到達目標 B	事前に情報収集を行い、しっかり業務内容を理解している		業務内容を理解している		業務内容を理解していない				
到達目標 C	技術力が飛躍的に向上した		技術力が向上した		技術力が向上しなかった				
到達目標 D	積極的に問題点を見つけ、課題解決の手段を考えることができる		課題解決力が身についている		課題解決力が身につけていない				
到達目標 E	成果をまとめ、質問にもスムーズに対応することができる		成果をまとめ、発表することができる		成果をまとめることができない				
【教科書】									

レジュメ・資料を配布する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

企業ごとに、ビジネスマナー・技術力等を総合的に判断する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		インターンシップ 2			年度	2025
英語表記		Internship 2			学期	通年
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンス	社会人としての姿勢やビジネスマナーを学ぶ	1 ビジネスマナー	社会人としてのビジネスマナーが身につけている	2	
			2			
			3			
2	会社説明・業務説明	企業の特長、業務内容を理解する	1 企業の特長	企業の特長を理解している	2	
			2 業務説明	業務内容を理解する		
			3			
3	業務実習①	業務実習より技術力の向上を図る	1 業務実習	業務実習を通じて技術力を身につける	2	
			2			
			3			
4	業務実習②	業務実習より技術力の向上を図る	1 業務実習	業務実習を通じて技術力を身につける	2	
			2			
			3			
5	業務実習③	業務実習より技術力の向上を図る	1 業務実習	業務実習を通じて技術力を身につける	2	
			2			
			3			
6	業務実習④	業務実習より技術力の向上とともに、課題解決力を身につける	1 業務実習	業務実習で技術力・課題解決力を身につける	2	
			2			
			3			
7	業務実習⑤	業務実習より技術力の向上とともに、課題解決力を身につける	1 業務実習	業務実習で技術力・課題解決力を身につける	2	
			2			
			3			
8	成果発表	成果をまとめ、プレゼンを行う	1 資料作成	資料を作成する	2	
			2 プレゼンテーション	成果発表を行う		
			3			
9						
10						
11						
12						

13							
14							
15							
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							